

多文化共生事例集作成ワーキンググループ（第4回）
議事概要

（1）開会

（2）意見交換

多文化共生事例集（令和3年度版）案について、意見交換を行った。要旨は以下のとおり。

○ 多文化共生事例集（令和3年度版）案について
（表紙）

- ・ 人物のイラストを掲載する場合は、ステレオタイプを避け、ダイバーシティに配慮したイラストを選定いただきたい。

（事例選定の視点）

- ・ 全て「～な取組」と記載されているが、例えば、①の4点目であれば、「～長期的に実施している取組」ではなく、「～長期的に実施している」とした方がよい。

（事例一覧及び章扉）

- ・ 事例一覧及び章扉にもコラムのページ数を記載した方がよい。

（実施別主体一覧）

- ・ 事例集全体を通して多様な実施主体が活動していることが特徴的であり、実施主体別に事例を確認したいという読み手のニーズがあると思われる。実施主体別の一覧も記載されていると分かりやすい。

（対象地域の基本情報）

- ・ 外国人出身国・地域等に加えて、外国人住民の在留資格の上位3資格を記載した方がよい。

（コラム）

- ・ 文字だけでは読みづらいため、前回事例集のように枠で囲む、見出しの書体を変更する等、レイアウトを工夫してはどうか。

（印刷製本）

- ・ 事例集を製本し、配布する予定はあるか。
→大部のものとなり、要する費用も相当なものとなるため、総務省ホームページでの掲載のみとしたい。

（事例集の公表について）

- ・ 総務省のホームページに掲載される際に、事例集のデータ容量が非常に大きく、読み手が閲覧しづらいことがないように、事例の項目ごとに分割して掲載してほしい。

以上